

リフレッシュ理科教室の現状について

Present Situations of "Refresh Rika Kyousitsu"

九大工¹, 応物教育企画² ○原 一広^{1,2}

Kyushu Univ.¹, JSAP², Kazuhiro Hara^{1,2}

E-mail: hara.kazuhiro.590@m.kyushu-u.ac.jp

「リフレッシュ理科教室」は、応用物理学会が20年間以上にわたり日本全国各地において推進している小・中学生を対象とした科学技術啓発活動である。本講演では、活動の内容やそれを取りまく状況の概要についての報告を行うと共に、将来の活動に向けた課題についての検討を行う。

「リフレッシュ理科教室」は、1995年～2001年開催された「科学と生活のフェスティバル」の後継事業として1997年の九州地区での開催が始まりとし継続されている応用物理学会主催の科学啓発活動である。開催にあたり、実行委員や資金補助等の様々な事について、北海道、東北、北陸・信越、東海、関西、中国四国、九州地区においては該当各支部、関東地区については応用物理教育分科会に多大なるご協力をいただいている。図1に、これまでの「リフレッシュ理科教室」の各年における会場数の変遷を示す。年々開催会場数は増加し、活発に活動が行われている事を示している。図2に、2016年度に「リフレッシュ理科教室」が開催された地域の分布図を示している。若干の開催地域の疎密はあるが、全国をほぼ網羅している事が分かる。この様な、其々の地区における「リフレッシュ理科教室」に加え、異なる地区の実行委員が連携し、都市から遠隔の地域や離島において連携して行う「地域連携型リフレッシュ理科教室」も2008年より開催されており（図1）、応用物理学会の特徴的な活動の1つとなっている。「リフレッシュ理科教室」の本部財源としては、本部予算に加え、ほぼ同額について「応用物理学術・教育奨励基金」から補助を頂いている。

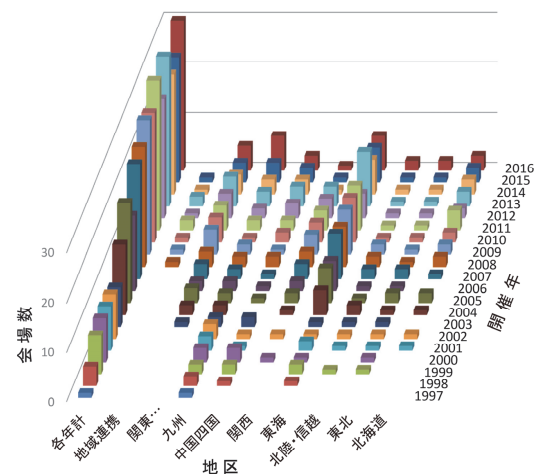


図1. 「リフレッシュ理科教室」開催会場数の変遷



図2. 2016年「リフレッシュ理科教室」会場分布